



令和4年度 基本評価調書①		所管部局	総合政策部	所管課	計画推進課		
施策名	安全・安心な暮らしを支える社会資本整備の推進			施策コード	0217		
政策体系(中項目)	持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備			政策体系コード	3(7)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略 強靱化計画 Society5.0推進計画					事務事業数	4
SDGs	 			総合判定	順調		
予算額(千円)	R 4	1,957,150	R 3	1,984,551	R 2	1,906,537	

施策目標	社会資本が本道の産業活動や暮らしを支え、地域の発展に寄与していくため、「選択と集中」の観点に立った戦略的・効果的な社会資本整備を進めるとともに、既存施設の長寿命化を図るなど社会資本の効率的・効果的な維持管理・更新等を図る。	
現状と課題	人口減少と高齢化の進行により社会資本への投資余力が減少するとともに、高度経済成長期に整備された橋梁などの社会資本の老朽化が進行している。	
前年度二次評価意見		対応状況 (R4.3時点)

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<p>○「新・ほっかいどう社会資本整備の重点化方針」における「優先度」に基づき、道の社会資本整備関係予算について重点化状況を把握・点検する。</p> <p>○北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）に基づく取組の実施状況を把握・点検・共有する。</p>	<p>○重点化方針に基づく取組状況については、年度末の公表に向け調査を予定。 令和3年度においては、優先度の高い事業の事業費全体に占める割合が90%を超える水準となっており重点的な投資が続いている。 【事業優先度Ⅰのシェア】 R2年度：93.4%、R3年度：92.8%</p> <p>○インフラ長寿命化計画に基づく取組状況については、次年度の公表に向け調査を予定。 令和3年度においては、個別施設計画の策定率が100%となった。 【個別施設計画の策定率】 R2年度：94.6%、R3年度：100.0%</p>

連携状況	「社会資本整備推進会議」の開催、「道有財産等有効活用促進会議」等への参画などを通じ、各部との施策調整、情報共有などを行っている。
緊急性優先性	<p>道が管理する主な施設の「建設後50年を経過する施設の割合」は、20年後には多くの施設で50%を超えることから、道民が安全に安心して利用できる社会資本の保全を図るため、インフラ長寿命化の取組を早急に推進していく必要がある。</p> <p>このことから、社会資本の予防保全型維持管理を着実に推進するため、個別施設計画に基づく点検・診断及び維持管理・更新等にも活用可能な交付金等の制度創設や、既存の補助・交付金の要件緩和等及び予算の確保を図るよう国に提案・要望を実施。 【参考：建設後50年を経過する庁舎等の施設の割合】 2021年：21%→2041年：66%</p>

<b>令和4年度 基本評価調書②</b>	<b>施策名</b>	安全・安心な暮らしを支える 社会資本整備の推進	<b>施策 コード</b>	0217
----------------------	------------	----------------------------	-------------------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	維持	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
個別施設ごとの長寿命化計画策 定率		目標値	86.5	100.0	100.0	100.0	100.0%	A
		実績値	94.6	100.0	100.0			
<b>設定理由</b>	インフラ長寿命化計画に基づき、全ての施設の個別施設計画を策定することとしているため設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
各インフラ施設におけるトータルコストの縮減・平準化に向け、優先順位の考え方や対策内容等を示す個別施設計画について、策定済みとなるなど計画的な取組が進められている。								

指標名②			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						
<b>設定理由</b>								
<b>分析（主な取組と成果）</b>								

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						
<b>設定理由</b>								
<b>分析（主な取組と成果）</b>								

**【総合判定】**

<b>連携状況</b>	○	<b>緊急性 優先性</b>	○	<b>指標判定</b>	A	<b>総合判定</b>	順調
-------------	---	--------------------	---	-------------	---	-------------	----

翌年度に 向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	引き続き、「新・ほっかいどう社会資本整備の重点化方針」に基づき、社会資本整備の重点化状況を把握・点検するとともに、事業優先度を設定する際の指針となる「事業優先度設定の手引」の改訂を検討する。
	②	引き続き、「北海道インフラ長寿命化計画(行動計画)」に基づく取組の実施状況を把握・点検するとともに、各施設における個別施設計画の充実を働きかけていく。
	③	

<b>令和4年度 事務事業評価調書</b>	施策名	安全・安心な暮らしを支える社会資本整備の推進	施策コード	0217
-----------------------	-----	------------------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
0601	0202 0203	一般	国費予算関係促進費	・国費予算等に係る中央要請 ・直轄事業負担金に係る国及び庁内の総合調整 ・北海道強靱化計画の推進	計画推進課		2,874	2,874	9.3	5.8	15.1	120,412			
0602	0202 0203	一般	社会資本整備推進費	・新・ほっかいどう社会資本整備の重点化方針の推進 ・北海道インフラ長寿命化計画(行動計画)の推進 ・PFI事業の推進	計画推進課		1,042	1,042	1.2	1.4	2.6	21,280			
0603		投資的経費 A	北海道特定特別総合開発事業推進費	・北海道総合開発計画に資する特定のテーマに基づき、社会資本整備を総合的に推進する	計画推進課		1,953,234	52,275	0.4	0.5	0.9	1,960,240			
0604	0202 0203	事務	計画推進課総合調整等業務	・職員の仕事、給与事務をはじめ、道議会事務や予算・決算等の課内庶務全般にわたる管理事務	計画推進課		0	0	0.1	0.5	0.6	4,670			
計							0	1,957,150	56,191	11.0	8.2	19.2			

